



砂丘地における防風林の保全管理

平地農業地域

よのづ

さかいし

米納津農地を守る会（福井県坂井市）

- 福井県北部の三里浜砂丘地に位置し、畑地帯総合整備事業により整備された畑で、施設野菜や露地野菜等が栽培されている。
- 砂丘地であることから、水路等への飛砂対策が地域の課題であり、水路の泥上げ等について、多面的機能支払交付金を活用して取り組んでいる。
- また、本地区においては、農地の表土の飛散や作物の風害の緩和のため、防風林の存在が重要であり、ほ場に隣接する防風林の管理についても本交付金を活用している。

【地区概要】

- ・取組面積 96ha(田10ha、畑 86ha)
- ・資源量 開水路11.3km、農道8.7km
- ・主な構成員
農業者、非農業者、自治会、老人会、農家組長会、女性部、子供会、その他
- ・交付金 約3百万円(H29)
〔 農地維持支払
資源向上支払(共同) 〕

地域の状況



砂丘地の様子

- 砂丘地であることから、らっきょう、大根、メロン、スイカ、かんしょ等の水はけが良く砂地に適した作物が栽培。
- 砂地であることから、農地の風食を守る防風林は、地域の重要な施設となっているが、近年、松食い虫による「マツ枯れ」の被害が増加。

主な取組内容



水路の泥上げ

- 水路や農道側溝に、砂丘地からの飛砂が堆積し、水路の通水機能が低下。
- このため、多面的機能支払交付金を活用し、地域共同の活動により、水路の泥上げを実施。



防風林の保全管理

- ほ場に隣接する防風林について、多面的機能支払交付金を活用し、枝払いや下草刈り等を実施。
- また、これら防風林への松食い虫による被害を軽減するため、被害木の調査、伐採、搬出、焼却、防除薬散布等を実施。